

たりして最後のピッチを終えると、テントから出て見守つてくれている皆の姿が見えた。5時にA.d.cに着き、翌日A.d.cを撤収しBCへと下る。

(3) エレファントピーク (10232ft. Peak) 登頂記 松本繁文

7月5日、天候は朝のうちガスであつたが上空は晴れ、そこでA.C.に4日間の食糧、ガソリンの補給をし、その足でエレファントピークに登ることにしA.C.をA.M.9:00に、N.A.M.3名そろつて出発、例のトラバース地点で時間を食ひトラバース完了がP.M.1:00、この1:00の交信でアタック隊2名が偵察を終えA.C.にもどつているということで全員そろつて登ることにし、(P.M.2:00 全員集結し、エレファントピークに向う。

集結地点より稜線までは、クレバスが1つ、それを越せばなんなく稜線である。稜線からは、スーシナ氷河の全景がすばらしい。稜線上の少しくラストした雪面を快くとはしてすぐにエレファントピーク直下のコルに出る。天候も、ガスが晴れ気持よく晴れている。風もおだやか、直下コルよりは、スーシナ側のルンゼ状のところよりピークに続く斜面に出る。このあとの斜面は気持よくピークに続き、ピークにはP.M.3:15に着いた。ピークからのながめは、稜線が美しく光つていた。

エレファントピーク直下のコルに途中デポした、食糧、ガソリン4日分をアタック隊2名に渡し再びA.C.とに別れた。明日は、きつと良い天気だろう。

